

滋賀大学における地域連携の取組について

滋賀大学の地域連携方針

滋賀大学は、豊かな人間性とグローバルな視野を備えた専門性の高い職業人の養成と、創造的な学術研究への挑戦を通して、人類と社会の持続可能な発展に貢献することを理念とし、教育と研究の成果及び大学が有する知的資源を還元することにより、地域社会との多様な連携を積極的に構築し、開かれた大学として、地域社会の発展に寄与することを目指して掲げています。

この目標を達成するため、本学では産学公連携推進機構を設置しています。

産学公連携推進機構では次のビジョンを策定し、活動しています。

「大学の知を社会に実装し、地域に貢献する」

- 先進的な研究成果を活かし、地域の課題を解決する。
- 地域の人材育成を通じ、地域社会に貢献する。



滋賀大学 彦根キャンパス

PICK UP

大学の研究者



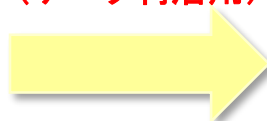
■ 主な研究内容

高度交通システム、交通最適化、ビッグデータ分析、ヒューマンセンシング

データサイエンス学部
川井 明 准教授

※研究者の経歴等は
(URL: <http://www.kawai-lab.com>)をご参照下さい。

デジタル技術の活用
(データ利活用)



地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

交通、都市整備

■ 活用例

- 彦根市の救急車両出勤負荷を予測し、人口構成による到着時間の変化を推定
- 県内重要道路の渋滞原因を究明し、低コストで渋滞を軽減する改善案を立案

地域との連携形態について

地域との連携形態

滋賀大学では下記の連携フローに則り、産学公連携推進機構を窓口としてお問い合わせをいただいた後、課題解決に向けた取組を行います。（学術指導、共同研究、人材育成など）

連携フロー



連携方法

いただいたニーズを踏まえ、連携希望先と協議したうえで連携方法を決定します。ここでは、代表的な連携方法をご紹介します。

- ・学術指導・・・自治体・企業等が取り組む研究活動等の指導を行います。
- ・共同研究・・・自治体・企業等が取り組む課題解決に向けた指導や本学研究者と連携先が共同で研究を進めます。
- ・人材育成・・・複数日のセミナー形式や1日限りの講演など、要望に応じてプログラムを提供いたします。

※学生（教育）に沿った連携については、地域連携教育推進センターで承っております。
（まずは産学公連携推進機構までお問い合わせください。）

地域との連携形態について

地域との連携形態

滋賀大学では下記の連携フローに則り、産学公連携推進機構を窓口としてお問い合わせをいただいた後、課題解決に向けた取組を行います。(学術指導、共同研究、人材育成など)

また、地域や企業等との橋渡し役として「社会連携コーディネーター」を設け、本学の教育・研究リソースを活用した産学公連携の組織的な推進を図っています。

連携フロー



社会連携コーディネーター制度による産学公連携



連携の流れ



地域との連携実績について

地域との連携実績

滋賀大学では滋賀県内を始め、数多くの自治体と産学連携協定を締結しており、地域の活性化や産業振興、人材育成などを通して地域貢献を行っています。

これまでの連携協定実績は下記WEBページをご覧ください。

https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/social_cooperation/partnership_agreement/

連絡先

滋賀大学 産学公連携推進機構

TEL: 0749-27-1141

Mail: icr@shiga-u.ac.jp